

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月8日

上場会社名 株式会社王将フードサービス
コード番号 9936

上場取引所 大証一部

URL <http://www.ohsho.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大東 隆行

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役経営企画部長 (氏名)鈴木 和久 TEL (075) 592 - 1411

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	37,274	5.0	4,061	△1.1	4,034	1.1	2,144	△1.5
19年3月期第3四半期	35,483	3.2	4,108	△0.4	3,991	2.3	2,177	223.4
19年3月期	47,206	—	5,355	—	5,236	—	2,501	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	98	26	98	12
19年3月期第3四半期	99	75	99	34
19年3月期	114	64	114	18

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	47,006		22,587		47.9	1,032	63	
19年3月期第3四半期	46,564		20,975		45.0	963	93	
19年3月期	46,954		21,424		45.6	980	75	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	3,005		△2,652		△817		3,058	
19年3月期第3四半期	5,207		△2,136		△2,752		2,942	
19年3月期	7,543		△2,685		△3,960		3,522	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	—	—	25	00	25	00
20年3月期	12	00	—	—	25	00
20年3月期(予想)	—	—	13	00		

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	49,296	4.4	5,674	5.9	5,570	6.4	2,754	10.1	126	24

4. その他

- (1)期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提、その他の関連する事項については、4ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、米国のサブプライム問題に起因する金融市場の混乱や原油・穀物価格の高騰など、先行き不透明感が強まっております。

また、外食業界におきましても、相次ぐ食品事件や原材料価格の高騰など、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「進化」をスローガンに掲げ、現状に甘んずることなく、自社の独自性を保ちながら顧客ニーズの変化に機敏に対応し、より高い品質の料理とサービスを提供することを目標に、全社一丸となって取り組んでまいりました。2007年7月には、おかげさまで500店舗を達成することができ、それに併せ「500店舗達成記念キャンペーン」を実施して好評を博しました。この500店舗すべては、立地・大きさ・レイアウト・定食メニュー等が一店ずつ異なる多様性を持ち、創業時より受け継がれる「自奮自發」の精神のもと、常に変化するニーズに機敏に因應するため、地域に密着した中華食堂業態の確立に努めてまいりました。

次年度スローガンを「更なる進化」とし、創業時よりの悲願である1000店舗を目標に邁進してまいります。

店舗展開の状況につきましては、当連結会計年度の出店計画に基づき、関東、関西地区を中心に直営12店、フランチャイズ（以下FCという）5店の新規出店を行う一方、FC6店の閉鎖がありました。これにより期末店舗数は、直営327店（うちLS[委託ライセンスシステム]6店）、FC179店（うち委託FC6店）となりました。また、新規出店と並行して、既存店の改装にも注力し新規出店並みの設備投資を行うなど、一店一店地域に密着した繁盛店作りを進めてまいりました。

以上の結果、連結売上高は、前年同期に比べて17億90百万円（5.0%）の増収で372億74百万円となりました。なお、既存店売上高は前年同期に比べて1.9%の増収となりました。

営業利益は、人件費や減価償却費等の増加があり、前年同期に比べて46百万円（1.1%）減少し、40億61百万円となりました。

経常利益は、有利子負債の圧縮や金利の見直しによる支払利息の減少等により、前年同期に比べて42百万円（1.1%）増加し、40億34百万円となりました。

また、四半期純利益は、前年同期の税負担が通常より少なかったことにより、前年同期に比べ33百万円（1.5%）減少し、21億44百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第3四半期における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ51百万円（0.1%）増加し、470億6百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億12百万円（8.8%）減少し、42億79百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億63百万円（1.1%）増加し、427億26百万円となりました。主な要因は、新規出店及び既存店改装に伴う有形固定資産の増加等であります。

（負債の部）

当第3四半期における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ11億10百万円（4.4%）減少し、244億19百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億51百万円(7.6%)減少し、127億51百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ58百万円(0.5%)減少し、116億67百万円となりました。主な要因は、社債の償還に伴う減少等であります。なお、借入金と社債の残高は172億29百万円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ11億62百万円(5.4%)増加し、225億87百万円となりました。主な要因は、四半期純利益が21億44百万円となったことや、配当金の支払8億7百万円による減少等であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.6%から47.9%にアップ致しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末の現金及び預金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億63百万円減少し、30億58百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同期より22億1百万円(42.3%)減少し、30億5百万円となりました。これは、法人税等の支払額が前年同期は純額で還付となったのに比し、当第3四半期は23億87百万円の支払となっているため、前年同期に比べキャッシュ・フローが25億63百万円減少したことが主要因です。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益38億84百万円に減価償却費14億54百万円等を加えた額から法人税等の支払額23億87百万円等を減じた額であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同期より5億15百万円(24.1%)増加し、26億52百万円となりました。これは、前年同期に投資不動産の売却代金の回収があったことが主要因です。

主な内訳は有形固定資産の取得23億64百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期より19億35百万円(70.3%)減少し、8億17百万円となりました。これは、前年同期に自己株式の取得による支出があったことが主要因です。

主な内訳は、配当金の支払8億7百万円等による支出であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当初(平成19年5月18日決算発表時)の見通しに対して、当第3四半期連結業績は想定した範囲内の実績であり、業績予想は変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金及び税金費用の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については改正後の法人税法に基づく新たな定率法に変更しております。

この変更が損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		前連結会計年度末 (平成19年3月期末)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産	4,234	9.1	4,279	9.1	4,691	10.0	△412	△8.8
1. 現金及び預金	3,015		3,122		3,585		△463	
2. 売掛金	118		115		104		11	
3. たな卸資産	334		351		267		84	
4. その他の流動資産	766		690		734		△44	
II 固定資産	42,330	90.9	42,726	90.9	42,262	90.0	463	1.1
1. 有形固定資産	34,961	75.1	35,249	75.0	34,769	74.0	479	1.4
2. 無形固定資産	81	0.2	58	0.1	75	0.2	△17	△23.5
3. 投資その他の資産	7,287	15.6	7,419	15.8	7,417	15.8	1	0.0
資産合計	46,564	100.0	47,006	100.0	46,954	100.0	51	0.1
(負債の部)								
I 流動負債	15,036	32.3	12,751	27.1	13,803	29.4	△1,051	△7.6
1. 買掛金	1,201		1,352		1,173		178	
2. 一年内償還予定の社債	1,520		1,405		1,595		△190	
3. 短期借入金	3,120		1,120		280		840	
4. 一年内返済予定の 長期借入金	5,622		5,323		6,151		△827	
5. その他の流動負債	3,572		3,550		4,603		△1,052	
II 固定負債	10,552	22.7	11,667	24.8	11,726	25.0	△58	△0.5
1. 社債	2,680		2,175		3,342		△1,167	
2. 長期借入金	5,579		7,206		5,875		1,330	
3. その他の固定負債	2,293		2,286		2,508		△221	
負債合計	25,589	55.0	24,419	51.9	25,530	54.4	△1,110	△4.4
(純資産の部)								
I 株主資本	24,510	52.6	26,253	55.9	24,910	53.1	1,342	5.4
1. 資本金	8,166	17.5	8,166	17.4	8,166	17.4	—	—
2. 資本剰余金	9,026	19.4	9,026	19.2	9,026	19.2	—	—
3. 利益剰余金	9,999	21.5	11,627	24.7	10,292	21.9	1,335	13.0
4. 自己株式	△2,682	△5.8	△2,568	△5.4	△2,575	△5.4	7	△0.3
II 評価・換算差額等	△3,550	△7.6	△3,715	△7.9	△3,509	△7.5	△205	5.9
1. その他有価証券 評価差額金	7	0.0	△159	△0.3	46	0.1	△206	△442.2
2. 土地再評価差額金	△3,571	△7.6	△3,571	△7.6	△3,571	△7.6	—	—
3. 為替換算調整勘定	12	0.0	15	0.0	14	0.0	0	3.7
III 新株予約権	15	0.0	50	0.1	23	0.0	26	111.4
純資産合計	20,975	45.0	22,587	48.1	21,424	45.6	1,162	5.4
負債及び純資産合計	46,564	100.0	47,006	100.0	46,954	100.0	51	0.1

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増 減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	35,483	100.0	37,274	100.0	1,790	5.0	47,206	100.0
II 売上原価	10,849	30.6	11,443	30.7	594	5.5	14,345	30.4
売上総利益	24,634	69.4	25,831	69.3	1,196	4.9	32,861	69.6
III 販売費及び一般管理費	20,526	57.9	21,769	58.4	1,243	6.1	27,505	58.3
営業利益	4,108	11.5	4,061	10.9	△46	△1.1	5,355	11.3
IV 営業外収益	179	0.5	217	0.6	38	21.3	267	0.6
V 営業外費用	295	0.8	244	0.7	△51	△17.4	386	0.8
経常利益	3,991	11.2	4,034	10.8	42	1.1	5,236	11.1
VI 特別利益	—	—	11	0.0	11	—	18	0.0
VII 特別損失	298	0.8	161	0.4	△136	△45.9	803	1.7
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	3,693	10.4	3,884	10.4	191	5.2	4,450	9.4
法人税等	1,515	4.3	1,740	4.6	224	14.8	1,948	4.1
四半期(当期) 純利益	2,177	6.1	2,144	5.8	△33	△1.5	2,501	5.3

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	期 別	前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)	(参 考) 前期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額
I	営業活動によるキャッシュ・フロー			
	税金等調整前四半期(当期)純利益	3,693	3,884	4,450
	減価償却費	1,339	1,454	1,832
	減損損失	—	—	125
	貸倒引当金の増加額	13	25	15
	役員退職慰労引当金の増減額	—	△22	315
	受取利息及び受取配当金	△31	△32	△35
	支払利息	211	175	271
	投資有価証券評価損	85	0	80
	固定資産除売却損益	206	149	298
	たな卸資産の増加額	△106	△84	△39
	仕入債務の増加額	75	179	47
	未払消費税等の増減額	△21	3	△8
	その他	△241	△184	253
	小計	5,225	5,548	7,608
	利息及び配当金の受取額	31	32	34
	利息の支払額	△225	△187	△276
	法人税等の還付額	216	—	216
	法人税等の支払額	△40	△2,387	△40
	営業活動によるキャッシュ・フロー	5,207	3,005	7,543
II	投資活動によるキャッシュ・フロー			
	定期預金の増減額	8	△0	17
	有形固定資産の取得による支出	△2,299	△2,364	△2,829
	有形固定資産の売却による収入	78	17	78
	収用補償金の受取による収入	63	—	63
	投資有価証券の取得による支出	△121	—	△121
	貸付けによる支出	△47	△173	△53
	貸付金の回収による収入	45	46	58
	差入保証金の差入による支出	△134	△138	△180
	投資不動産の売却による収入	315	—	315
	その他	△44	△40	△32
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,136	△2,652	△2,685
III	財務活動によるキャッシュ・フロー			
	短期借入金の純増加額	2,840	840	—
	長期借入れによる収入	2,400	5,900	4,500
	長期借入金の返済による支出	△4,144	△5,397	△5,419
	社債の発行による収入	391	—	1,385
	社債の償還による支出	△1,342	△1,357	△1,605
	自己株式の取得による支出	△2,766	△0	△2,767
	自己株式の処分による収入	441	5	517
	配当金の支払額	△572	△807	△572
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,752	△817	△3,960
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	1
V	現金及び現金同等物の増減額	318	△463	898
VI	現金及び現金同等物の期首残高	2,624	3,522	2,624
VII	現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,942	3,058	3,522

四半期連結部門別売上高の明細

(単位：百万円)

	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)		前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)	
	店舗数	金額	店舗数	金額
	店		店	
中華専門店				
直営店	324	33,707	312	31,973
フランチャイズ加盟店	179	3,392	181	3,302
小計	503	37,100	493	35,275
その他 (主として直営和食店)	3	174	4	207
合計	506	37,274	497	35,483

- (注) 1. 店舗数は、第3四半期末時点の店舗数です。
 2. 中華直営店には、子会社が運営する3店舗が含まれています。